

《 競 技 注 意 事 項 》

- 1 本大会は、2025年（公財）日本陸上競技連盟規則および以下の競技注意事項により実施する。
- 2 トラック競技におけるレーン順は、プログラム記載の左側番号で示す。
- 3 ウォーミングアップは補助競技場で行うこと。
なお、7:30～8:50の間、練習場として本競技場を開放する。
- 4 招集について

- (1) 招集所は設置しない。

各組の招集完了時刻（競技開始時刻の10分前）までに各競技のスタート地点付近で、出発係による点呼を受けること。その際、胸ナンバーカードと背ナンバーカード（番号はレーン番号、各自準備）の確認を受け、シール式腰ナンバーカードを受け取り、右腰に貼ること。

※上記に遅れた場合は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。

- (2) あらかじめ出場競技種目を棄権する場合は、棄権届（google form）により申告する。また、突発的な事故等で棄権する場合は、スタート地点付近で出発係に申し出る。

5 競技について

- (1) 規格外シューズの使用は認めない。

※シューズのチェックは行わないが、主催者が必要と認めた場合は、競技役員がシューズの確認を行うことができる。仮にレース後に規定外シューズの使用が認められたときは「失格」となり記録を認めない場合もある。

- (2) 男子 3000m および男子 5000m では二段階スタートを実施する。係員の指示に従うこと。
- (3) 男子 800m 及び女子 800m で9レーンの競技者は、8レーンからスタートをする。ただし、欠場によりレーンに空きがある場合は、空きレーンからスタートする場合もあるので、係員の指示に従うこと。

6 その他

- (1) プログラム記載の個人情報は、取得の際に特定した利用目的の範囲内で、適正に利用 する。 なお、競技会の映像や写真、記事、個人記録等は主催者が承認した第三者が大会運営 及び宣伝等の目的で、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット等の媒体に掲載 することがある。
- (2) 主催者において参加者全員が被保険者として、スポーツ保険に加入する。また、主催者側は事故に対する応急処置はするが、その後の責任は負わない。
- (3) 大会期間中の貴重品の管理は各自行うこと。
- (4) ごみはすべて持ち帰ること。